

談話的観点からみた依頼表現

李 野¹

1. はじめに

林(1982)によると、外国語学習には言語形式の習得ということがもっとも重要であるが、実際に使用するに当たっては、どのような心理状態で自分の意志を的確に表現したらよいかということが極めて重要な問題となってくるとされている。また、外国語学習の難しさには、その国民、その民族の言語行動の把握ということが含まれているとされる。論者もこれと同じ観点に立つ。われわれは日常生活で他人に自分の意思を伝えるために、常に相手、場所、用件、話をする意図などの要素を考慮しながら言葉を使い分けている。この相手に対する認識、場所、用件などに対する話し手の意識は、個人による違いもあるが、その言語共同体に属する母語話者に共通する認識が存在するのである。この点に対する理解は、外国語学習者にとって難しいものとなっている。

「依頼」をテーマに、日中の大学生 216 人を対象に行った調査を通じて、日中の「依頼」における認識の違いと、依頼表現の対照研究を試みた。その中から「小銭を借りる」場面を本論ではとりあげ、日中依頼表現の対照を行いたい。

2. 先行研究

2. 1 言語行動にみる「感謝」

言語行動は、その言語が話される文化・社会の規範に大きく反映すると指摘し、「感謝」という言語行動の日英における違いを、調査を通じて実証的に論じた研究として、三宅(1994)が挙げられる。

三宅(1994)によると、感謝するという言語行動は、さまざまな言語社会の中で、かなり普遍的に繰り返される人間の日常的ないとなみの一つである。しかし、どのような状況のとき、どのように感謝を表現するか(またはしないか)は、それぞれの言語社会によって異なるとされている。異言語間の感謝の言語行動にさまざまな違いがあり、その違いにはその言語が話される文化・社会の規範や価値観が大きく反映していると三宅は提示し、日本人とイギリス人に対して、文化・社会

¹ 信州大学人文科学研究科言語文化専攻修士 2 年。

を反映する言語行動を分析している。

三宅(1994)では、日英の感謝と詫びに関する調査の一部、「感謝のことば」の観点に絞って考察を行っている。調査では、日常生活で感謝や詫び表現を誘発する17場面を設定し、それぞれの場面において、①どのような言語表現を使うか(または使わないか)、②どのような気持ちを持つか、を聞いている。調査で得られた結果により、場面評価の分析、言語表現の分析を行い、そのうえで場面心理と言語表現の関連、及び言語表現の使い分けについて触れている。その結果、「感謝する」現象は日英双方に見られてもその言語行動はさまざまなレベルで異なると指摘されている。その異なりの要素は、「借り」の有無や大小に対する考え方、相手との上下・親疎関係、話し手の性などさまざまであり、それらが複雑に作用し合って言語行動の違いとして表出しているのであるとされているのである。

三宅(1994)は、ことばを発するときの心理と言語表現の関連を考察することにより、異言語間にある言語行動のとらえ方の違いについて論じている。そこで論者は、三宅の観点到に従い、日常生活で頻繁に行われる「依頼」という言語行動をテーマに、日中の大学生を対象に調査を行った。

2. 2 談話的観点からとらえる喜びの表現

「談話型」は、沖(1993a)により提唱された。まず「型」について、沖は、単語が統語的な規則のもとに接続して文を作るように、ある単位体がある規則のもとに接続して談話が作られると考えると、談話研究とはどのような単位体が、どのような規則で接続して談話を生成するか(統文論)についての考究であると考えることができると述べている。そこで、どのような単位体で談話が構成されているかという観点から「談話型」というものが提唱されている。

沖(1993a)は、『方言資料叢刊』第1巻(1991年)「祝言のあいさつ」の中の「道で出会った近所の人に結婚の祝いを述べる」という場面における言語表現を資料として取り上げ、「喜びの表現」を談話レベルでとらえた。以下は、沖(1993a)に挙げられた方言談話の例である。

(1)キマッタツジャソーナ。ヨカッタ ネ。(二四五・広島県倉橋町)

(2)オメデトーゴザイマス。オタクワ オヨメサン モライナサルゲナ。(二六九・福岡県福岡市)

この二例について、沖(1993a)は以下のように分析した。

(1)の「キマッタツジャソーナ。」というのは、結婚が決まったことを確認する表現である。それを(2)では、「オタクワ オヨメサン モライナサルゲナ。」と表現している。表現する単語や文型には地域的変異があるが、いずれにしてもその表現で結婚が決まったことを確認しているのとらえることができる。そこでこれを〈確認〉とし、談話を構成する意味的単位体として記述した。

この意味的単位体を「要素」と呼び、出現する要素の組み合わせを「談話型」と名づけた。(1)は〈確認〉と(ことがらに対する話者の)感想という二つの要素の組み合わせからなる〈確認〉〈感想〉型の談話型であり、(2)は〈祝い〉と〈確認〉の要素からなる〈祝い〉〈確認〉型であると記述することができる。ここで見ていく要素は一文を単位として出現するとは限らず、例えば「ゴケッコン キマッテ」という〈確認〉と、「タイヘン ヨカッタデスネ」という〈感想〉が、一文の中で共起しているような場合もある。

さらに、沖は、談話型という観点でとらえることによって、言語体系の差を越えて比較対照する視点が持てると指摘している。

3. 調査の概要

以下に論者が行った調査の概要を記す。

3. 1 調査対象及び調査時期

- (1) 調査対象の選定：大学生
 - (2) 調査地域：日本—長野県松本市 信州大学
中国—吉林省長春市 吉林大学、吉林工学院
 - (3) 調査時期：日本—2004年10月～11月
中国—2004年10月25日～29日
 - (4) 調査者の構成：日本—信州大学 学生
中国—吉林大学 外国語学院 日本語学専攻学生
吉林工学院「大学日本語」受講生(学部学生)
- 男女別、学年別の内訳は、【表1】、【表2】のとおりである。

【表1】男女別の内訳

	男	女	計
日本	44名	60名	104名
中国	52名	41名	93名 ²

² 実際調査したのは112名であるが、そのうち朝鮮語・モンゴル語母語話者計19名を除いた結果が93名である。

【表2】学年別の内訳

	1年生	2年生	3年生	4年生	計
日本	25名	32名	32名	15名	104名
中国	2名	36名	38名	17名	93名

(5) 調査方法：日本—集合調査と留め置き調査の折衷
中国—集合調査

3. 2 調査票の構成

数多くある「依頼」の中で、本調査では、次の六場面における日中の認識の相違に注目する。

- ①レポートのためのアンケート調査に協力してもらう。
- ②社会調査に必要なビデオカメラを借りる。
- ③電車の切符売り場で小銭を借りる。
- ④買い物で大金を借りる。
- ⑤借金返済期限の延長を頼む。
- ⑥貸したお金の返却を頼む。

この六つの場面は、さらに「相手に対する時間、労力の提供に関する依頼①」、「金品の貸し借りに関する依頼②、③、④」、「金品及び人間関係のバランスを取り巻く依頼⑤、⑥」の三つの大きなパターンに分かれる。

また、六つの場面それぞれに、上下・親疎関係の異なる相手を設定した。下記の人物は、いずれも同性の相手である。

- ①親友：学校の授業などの時に接触があるだけでなく、普段の生活においてもよく接触する間柄の人。
- ②顔見知りの同級生：普段会うとき、挨拶を交わす程度にとどまっている間柄の人。
- ③親しい先輩：学校の授業などの時に接触があるだけでなく、普通の生活においてもよく接触する間柄の先輩。
- ④顔見知りの先輩：普段会うとき、挨拶を交わす程度にとどまっている間柄の先輩。
- ⑤親しい後輩：学校の授業などの時に接触があるだけでなく、普通の生活においてもよく接触する間柄の後輩。
- ⑥顔見知りの後輩：普段会うとき、挨拶を交わす程度にとどまっている間柄の後輩。

アンケートでは、以上の6場面において、次のPART I～IIIに分けて答えを求めた。

PART I 頼むか、頼まないか

PART II 頼む場合、その気持ちはどうか

A 相手にとって何の負担もないと思う

B 相手にとってちょっと負担になると思う

C 相手にとってとても負担になると思う

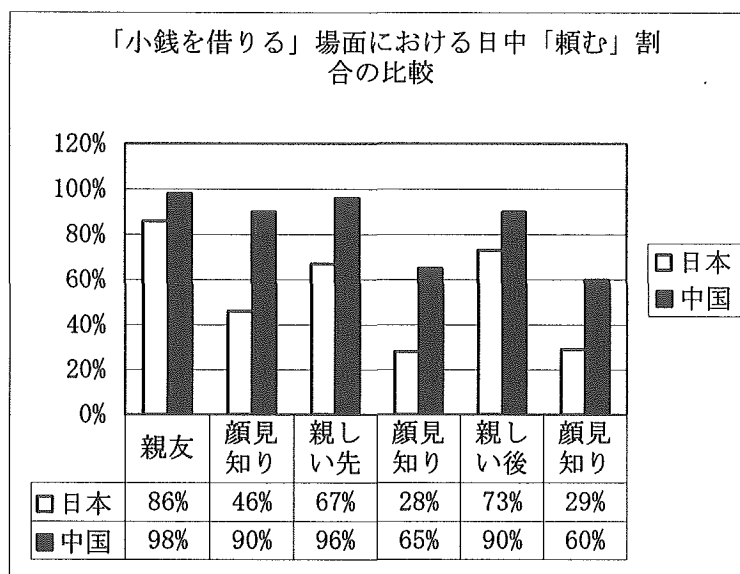
PART III 頼む場合、どのように話すか(実際に話すように)

調査票は、本論末尾に【調査票】として、当該部分を示す。

4. 「小銭借り」における認識の違い

PART I においては、「頼むか、頼まないか」を聞くことにより、日中の「依頼」における認識の違いを見る。【図1】は、「小銭を借りる」場面における日中の「頼む」割合の比較を示したものである。全般的に見た場合、「頼む」割合において、中国は日本を上回っていることが分かる。

【図1】日中の「頼む」割合の比較



5. 依頼表現の概観

ここでは、沖(1993a)の「談話型」という観点に従い、調査で得られた依頼表現を談話レベルで分析することを試みる。

(1) 日本語の依頼の談話型

「小銭を借りる」場面において、〈事情説明〉、〈依頼〉、〈詫び〉、〈保証〉、〈相手の状況確認〉、〈呼びかけ〉といった6種類の要素が抽出できた。また、談話型としては、以下の11種類が見られた。

- 1) 〈事情説明〉〈依頼〉型
KB03F2B³ 大きいのしかないんだけど、200円貸してくれない？
- 2) 〈詫び〉〈依頼〉型
KE06F2A 悪いんだけど、200円貸してもらえる？
- 3) 〈詫び〉〈依頼〉〈保証〉型
KE36F4B ごめん、200円貸してくれる？忘れずに返すから。
- 4) 〈詫び〉〈事情説明〉〈依頼〉型
KA01F3A ごめん、今細かいお金ないから200円借りていい？
- 5) 〈相手の状況確認〉〈依頼〉型
KD55F3C 小銭持ってますか？200円貸していただけますか？
- 6) 〈相手の状況確認〉のみ型
KC03F3B 細かいのありますか？
- 7) 〈依頼〉のみ型
KE35M2A ちょっと200円貸して。
- 8) 〈呼びかけ〉〈相手の状況確認〉型
KC59F3B 先輩、小銭ありますか？
- 9) 〈呼びかけ〉〈依頼〉型
KF24M3B ○○ちゃん、200円貸してもらってもいい？
- 10) 〈相手の状況確認〉〈事情説明〉型
KE43M4B 細かいのある？一万円しかなくてね・・・
- 11) 〈詫び〉〈事情説明〉型
KA49M3A ごめんね、いま細かいのなくて・・・

³ 七桁のコードは、左から順に、場面(K-小銭を借りる場面)、相手(B-顔見知りの同級生)、被調査者のコード(03)、性別(F-女性)、学年(2-学部2年生)、PART IIの答え(B-相手にとってちょっと負担になると思う)、となる。

(2) 中国語の依頼の談話型

談話の要素として、〈事情説明〉、〈依頼〉、〈保証〉、〈呼びかけ〉、〈感謝〉、〈補償〉、〈相手の状況確認〉、〈貸し返還要求〉といった8種類が現れた。これらの要素からなる談話型は以下の12種類見られた。

1) 〈事情説明〉〈依頼〉型

KB07F3A 没零钱坐车了，先借我一块钱。

(細かいの無いんだ。1元貸して。)

2) 〈依頼〉のみ型

① 「借」(「借りる」)

KD62M3B 借我一块钱。

(一元貸してください。)

② 「请」(「おごる」)

KA16M3A 今天请我坐车吧。

(今日はあなたがおごって。)

3) 〈相手の状況確認〉〈保証〉型

KA66M3 有零钱吗？回去还你。

(細かいのある？帰ったら返す。)

4) 〈呼びかけ〉〈依頼〉型

KC61M3B 师哥，能不能借我一块钱？

(先輩、一元借りていいですか？)

5) 〈詫び〉〈依頼〉型

KD46M3B 不好意思，借我点零钱。

(すみません、小銭をちょっと貸してください。)

6) 〈事情説明〉〈依頼〉〈感謝〉型

KB31M3A 没零钱了，借一块呗，谢了。

(細かいの無いから一元貸して。ありがとう。)

7) 〈呼びかけ〉〈事情説明〉〈依頼〉〈補償〉型

KE78M3 老弟，我忘带零钱了，麻烦你先借我一点，回去给你买雪糕。

(小銭忘れて持ってきてないけど、先にちょっと貸しとして、帰ったらアイスクリーム買ってあげる。)

8) 〈相手の状況確認〉のみ型

KF77F2B 有一块钱零钱吗？

(細かいのある？)

9) 〈相手の状況確認〉〈依頼〉型

KB48M2A 有零钱吗？先帮我付一下。

(細かいのある？先に払ってもらってもいい？)

10) 〈事情説明〉のみ型

KC46M3A 我没零钱了。

(細かいのないんです。)

11) 〈感謝〉のみ型

KB93F3A 谢了。

(ありがとう)

感謝表現のみによる回答であるが、単純にこの表現のみで依頼が成立することはまずない。恐らく何かの非言語行動に加わることにより依頼が成り立つのであろう。例えば、この場合は、手を差し伸べることによりお金を貸してもらおうよう頼む行為が成立するのである。

12) 〈事情説明〉〈貸し返還要求〉〈依頼〉型

KE23M2A 大哥没零钱，你表现的时候到了，替我买了吧。

(お兄さん細かいのないんだよね。あなたの出番だ。私の分も買って。)

日本語と中国語の依頼の談話型の出現度数については、【表3】、【表4】、【表5】を参照されたい。

【表3】日中ともに見られた談話型

		親友	顔見知りの同級生	親しい先輩	顔見知りの先輩	親しい後輩	顔見知りの後輩	合計
〈事情説明〉〈依頼〉型	日	21	3	13	6	19	7	51
	中	30	18	20	13	18	12	111
〈詫び〉〈依頼〉型	日	13	12	14	0	8	3	50
	中	4	7	7	10	6	8	42
〈詫び〉〈依頼〉〈保証〉型	日	29	16	19	10	21	7	102
	中	7	21	9	12	7	9	65
〈詫び〉〈事情説明〉〈依頼〉型	日	8	11	14	11	8	10	62
	中	0	0	0	0	0	0	0
〈相手の状況確認〉〈依頼〉型	日	3	3	4	1	0	0	11
	中	5	2	3	1	3	1	15
〈相手の状況確認〉のみ型	日	3	0	2	1	6	0	12
	中	1	2	1	5	3	6	18
〈依頼〉のみ型	日	10	3	2	0	13	3	31
	中	25	19	17	8	27	11	107
〈呼びかけ〉〈相手の状況確認〉型	日	0	0	1	0	0	1	2
	中	3	1	8	1	1	0	14
〈呼びかけ〉〈依頼〉型	日	0	0	1	0	0	1	2
	中	2	0	7	4	3	0	16
〈相手の状況確認〉〈保証〉型	日	0	0	0	0	0	0	0
	中	7	21	9	12	7	9	65
〈事情説明〉〈依頼〉〈感謝〉型	日	0	0	0	0	0	0	0
	中	1	6	3	4	2	5	21
〈呼びかけ〉〈事情説明〉〈依頼〉+〈補償〉型	日	0	0	0	0	0	0	0
	中	1	2	1	0	6	1	11
〈事情説明〉のみ型	日	0	0	0	0	0	0	0
	中	3	2	6	1	1	1	14

【表4】中国のみに見られた談話型

〈事情説明〉〈貸し返還要求〉〈依頼〉型	中	0	0	0	0	3	0	3
〈感謝〉のみ型	中	0	1	0	0	0	0	1

【表5】日本のみに見られた談話型

〈詫び〉〈事情説明〉型	日	2	3	1	0	4	1	11
〈相手の状況確認〉〈事情説明〉型	日	1	0	0	0	3	2	6

6. 依頼表現にみる日中の違い

6. 1 日本語の依頼の談話型の特徴

〈詫び〉前置型の出現度数が多い。依頼することは、相手にとって迷惑になることであると認識するため、それに対することわりにつながる〈詫び〉を前置させるのであろう。〈詫び〉前置型は、他の五つの場面においても出現度数が7割を占めている。

また、最後まではっきり言わずに、途中まで言って後を省略する、相手に気付かせるばかりした表現形式を用いるのも日本語の依頼の談話型の特徴として挙げられる。単刀直入の〈依頼〉のみ型の多い中国語の依頼の談話型と対立する。こういったばかりした表現形式は、中国語にも見られたが、「返金を頼む」場面にも見られた。

日本語の依頼の談話型の種類を依頼表現が含まれる「直接依頼」と、明示的な表現が含まれない「間接依頼」に分け、【図2】にまとめる。

【図2】 談話型の種類

【直接依頼】	-----	〈依頼〉のみ型 〈事情説明〉〈依頼〉型 〈呼びかけ〉〈依頼〉型 〈相手の状況確認〉〈依頼〉型 〈詫び〉〈依頼〉型 〈詫び〉〈依頼〉〈保証〉型 〈詫び〉〈事情説明〉〈依頼〉型
【間接依頼】	-----	〈相手の状況確認〉のみ型 〈呼びかけ〉〈相手の状況確認〉型 〈相手の状況確認〉〈事情説明〉型 〈詫び〉〈事情説明〉型

6. 2 中国語の依頼の談話型の特徴

談話の要素の種類、及び談話型の種類が日本語に比べて多い。中国語だけに見られる〈補償〉、〈感謝〉が特徴的である。注目したいのは、「〈事情説明〉〈依頼〉〈感謝〉型」に現れる〈感謝〉という要素は、〈事情説明〉〈依頼〉を述べた後、相手の反応を待ち、相手が依頼を受け入れてくれたことに対する〈感謝〉ではないという点である。ここでの〈感謝〉を先取り感謝として捉えたい。相手の反応を待つのではなく、依頼される相手はその頼みを受け入れてくれることを前提にした、一種の中国語独特の方略につながるのではないかと思う。また、〈補償〉については浜田(1995)が既に触れているが、これは恐らく依頼における人間関係のバランス感覚につながるのであろう。〈補償〉する行為により、依頼により崩れた人間関係のバランスを取り戻そうとする一種の修復とも言えるだろう。

また〈貸し返還要求〉という要素も、中国語だけに見られた。これは人間関係のバランスを取り戻そうとする〈補償〉と反対に、過去において「貸し」があることを取り出し、自分の依頼の正当化を主張する考えが現れている。

中国語の依頼の談話型を先の二種類の観点から分けて、【図3】に示す。

【図3】談話型の種類

- 【直接依頼】 ----- 〈依頼〉のみ型
〈事情説明〉〈依頼〉型
〈呼びかけ〉〈依頼〉型
〈詫び〉〈依頼〉型
〈事情説明〉〈依頼〉〈感謝〉型
〈相手の状況確認〉〈依頼〉型
〈事情説明〉〈貸し返還要求〉〈依頼〉型
〈呼びかけ〉〈事情説明〉〈依頼〉〈補償〉型
- 【間接依頼】 ----- 〈相手の状況確認〉のみ型
〈事情説明〉のみ型
〈感謝〉のみ型
〈相手の状況確認〉〈保証〉型

7. おわりに

本論では、「小銭を借りる」場面における日中依頼表現の対照研究を談話的観点から試みた。なお、今回の調査対象は、大学生に限っているが、社会人を対象とする場合、また新たな特徴が見られることも推測される。今後の課題としたい。外国語を学習する際には、単に言語形式のみならず、こうした母語と異なる認識の相違についても明らかにしていくことが重要であり、本研究の意義もそこにあると考えるものである。

【参考文献】

- 石田敏雄・高田誠(1990)『対照言語学』おうふう
井出祥子(1986)『日本人とアメリカ人の敬語行動』南雲堂
沖裕子(1993a)「談話型から見た喜びの表現 結婚のあいさつの地域差より」『日本語学』第十二巻第一号 明治書院
沖裕子(1993b)「談話からみた東の方言/西の方言」『月刊言語』第二十二巻第九号 大修館書店
木村英樹(1987)「依頼表現の日中対照」『日本語学』第六巻第十号 明治書院
真田信治・渋谷勝己・陣内正敬・杉戸清樹(1992)『社会言語学』おうふう
浜田麻里(1995)「依頼表現の対照研究—中国語における命令依頼の方略」『日本語

- 学』第十四卷第十一号 明治書院
- 三宅和子(1993)「「詫び」以外で使われる詫び表現—その多用化の実態とウチ・ソト・ヨソの関係—」『日本語教育』82号 日本語教育学会
- 三宅和子(1994)「感謝の対照研究 日英対照研究—文化・社会を反映する言語行動—」『日本語学』第十三卷第八号 明治書院
- 三宅和子(1994)「感謝の意味で使われる詫び表現の選択メカニズム」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』第8号 筑波大学
- 林淑珠(1982)「日本語と中国語の命令・依頼表現の比較—丁寧度の観点から—」『国語学研究』22号 東北大学文学部国語学研究室

【調査票】

お忙しいところを、ご面倒をおかけしまして申し訳ありません。私は信州大学人文科学研究科言語文化専攻の大学院生、李野と申します。日本語の「依頼表現」に関する研究を進めているところですが、このことについて皆様のご協力をお願いしたいと存じております。なお、調査の結果は、研究に使用するだけであり、他用に供することは一切ありません。ご協力をお願いいたします。

信州大学人文科学研究科言語文化専攻 李 野

yayapzc@hotmail.com

日付	2004年	月	日
性別	男		女
大学			大学
学部			学部
専攻			
学年			
生年月		年	月
出身地	国	県	市

下記の相手について、あなたは誰のことを思い浮かべますか。イニシャルで書いてください。(同性)

親友	
顔見知りの同級生	
親しい先輩	
顔見知りの先輩	
親しい後輩	
顔見知りの後輩	

3. 電車の切符売り場で切符を買おうとしたとき、財布の中に1万円札しかなかったことに気付きました。____に200円貸してもらいたいとき、どうしますか。

PART III (○最も自然な言葉づかい,
×何も書かずでいい)
親友

	PART I	PART II
相手	頼む○ 頼まない×	A 相手にとって負担がないと思う B 相手にとってちょっと負担になると思う C 相手にとってとても負担になると思う
親友		
顔見知りの同級生		
親しい先輩		
顔見知りの先輩		
親しい後輩		
顔見知りの後輩		

顔見知りの同級生

親しい先輩

顔見知りの先輩

親しい後輩

顔見知りの後輩

3. 和___一起坐电车，
想要买票时发现身上
只有一百块。想向他/
她借一块钱零钱时。

	PART I	PART II
	拜托 ○ 不拜托 ×	A 对对方一点负担 都没有 B 对对方有一点负 担 C 对对方有很大负 担
好友		
关系一般的同班同学		
关系密切的师哥/师姐		
关系一般的师哥/师姐		
关系密切的师弟/师妹		
关系一般的师弟/师妹		

PART III

好友

关系一般的同班同学

关系密切的师哥师姐

关系一般的师哥师姐

关系密切的师弟师妹

关系一般的师弟师妹
